



令和 7 年 6 月発行 発行者：砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事：高畑邦男 事務局：砺波市秋元 167 高畑邦男方

電話 090-4661-8827

## カイニヨ 掃除

### 武部由美子さん宅のカイニヨ掃除

#### カイニヨ掃除、事前準備

令和 7 年 3 月 25 日（午前中）

冬季の積雪被害又落雷等でメタセコイヤの上部が落ち通路を塞いでいた為、掃除前に準備として撤去した

#### カイニヨ掃除

1・日時 令和 7 年 3 月 29 日（土曜日）  
午前 9 時～11 時

2・場所 砺波市頼成 武部由美子宅  
3・参加者 14 名（会員 11 名、非会員 3 名）

作業当日は曇り空で作業とすれば条件が良好であった。

前日と次の日は、悪天候でした。

日頃の行いが良い人ばかりで無事掃除を終了することが出来ました。

掃除の後始末（砺波クリーンセンターにて）

令和 7 年 3 月 30 日 日曜日であったが

砺波市への事前予約制度を利用して処理しました。

今回の処理量は、軽トラ 2 台で 670kg です。

（処理費用は、事前に減免申請しました。）



掃除作業（全員頑張りました）



- ・送風機を利用した作業は、非常に能率アップでした。出村忍さん有難うございました
- ・今回の作業は、手際よく出来ました
- ・前庭の小木の剪定も少しは出来、綺麗になりました

## 出前講座・子供達と散居村について勉強しました

### 〈第 1 回目〉

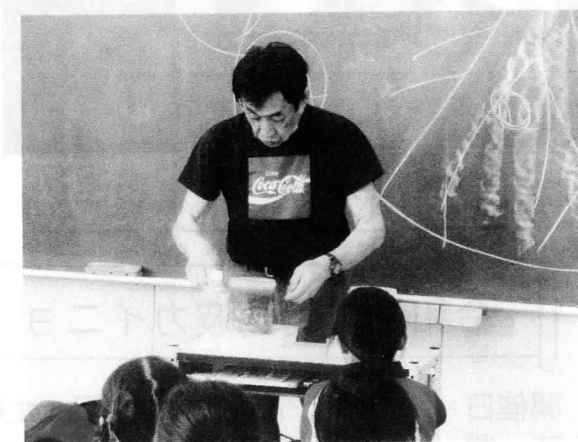
日 時 令和 7 年 4 月 25 日（金曜日）3・4 時間目  
場 所 砺波南部小学校  
参加者 砺波南部小学校 4 年生 35 名  
講 師 カイニヨ倶楽部 天野一男 高畑邦男  
講義内容 米作りと散居村のつながり・散居村の成り立ちと庄川散居村の保全活動・子供達に伝えたい事

#### 天野一男

砺波平野は、扇状地で水持ちが悪い場所（ザル田）です。表土の厚い、薄いによって、水管理の大変さの実験をしました。



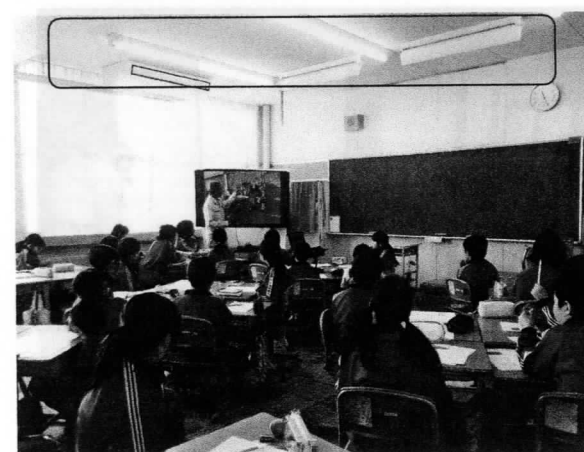
まるでトランプ大統領 赤い帽子



実験開始 上手く出来そう

#### 高畑邦男

人、木、そして動物と関わって生活を共にしてきたそれらに感謝してほしい。自然から学ぶことの大切さを話した。又昔使用していた道具（ミノ・竹ザル・竹ホウキ・コモ他）を見せました。



授 業 状 況



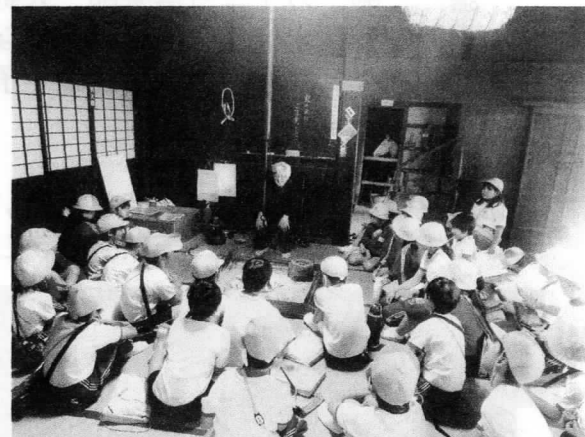
昔 使 用 し て い た 道 具

## 〈第2回目〉

日 時 令和7年6月5日（木曜日）9時～12時  
場 所 新藤正夫宅・砺波チューリップ公園内中嶋家  
参 加 者 砺波南部小学校 4年生35名  
講 師 カイニヨ倶楽部会員 新藤正夫  
郷土資料館 高原 徹  
講義内容 『新藤正夫宅 屋敷林の役割・アズマダチ見学』  
『中嶋家 囲炉裏を囲み昔の暮らし』



新藤正夫宅にて



チューリップ公園内 中嶋家

## 令和7年度砺波カイニヨ 倶楽部総会

開催日 令和7年5月17日 土曜日  
時 間 13時30分  
場 所 市内豊町 カイニヨ苑  
参 加 11名  
総会時の内容 別紙参照  
議案は、全員で承認されました。  
総会終了後 新藤正夫さん講演  
演題『砺波の風土』



令和7年度総会状況



新藤正夫さんの講演

## ホームページの閲覧状況

ホームページを改編して一年が経過しました。閲覧状況をデーターで確認して頂きました。以前は、13回/日 改編後 3月は、101回/日 4月は、136回/日 以前の10倍近い閲覧が有りました。

年1回の改編を、数回増やすことで閲覧回数が増えると思います。（須磨孝一さんのアドバイス）

## 新 聞 記 事

北陸中日新聞北陸薬草紀行

まず屋敷の草で治療 新藤正夫・柏樹直樹さんの記事です（抜粋しました）  
新藤正夫

町の喧騒が遠のき、静けさの中に野鳥のさえずりが響く「昔から砺波平野の農家は風雪から家を守るために、屋敷林を大切に育ててきた」。

カイニヨには、気象から住居を守るだけでなく、多くの用途があった。

「明治の頃、家を建てる時に屋敷のスギやアスナロ（アテ）、カシなどを使った」

カイニヨの中を歩くと、オウレンやゲンノショウコウ、ユキノシタ、イカリソウといった薬草が地面から無数に顔を出していた「昔はやっぱりゲンノショウコが一番飲んだ」食あたりがいつぱんに止まる。風邪でせきが出た時などは、白ナテンの実を煎じて飲んだ。燃やすと蚊除けになる植物もあった「屋敷の中に無駄な草は、ない」

柏樹直樹

「オウレンは、腹痛がすぐ治る」根を洗って乾燥させ、煎じる。昭和の終わりがごろまでは飲んでいた

火傷を負った際、祖母がドクダミの生の葉をすりつぶして塗ってくれた

【家の薬草で治ればよし、治らなければ富山の置き薬。昔はよほどでないとい医者にはゆかなかった】

落葉拾いは、年寄りの仕事で、元気の素

「環境、景観、木から発せられる香り。時代が変わっても、お金に代えられない価値が平地の緑にはある。住む人の意識がそこに目覚めれば、カイニヨは、残っていくだろう」

## 雑 談

高畑邦男（カイニヨ倶楽部代表幹事）

薬草以外にも薬があります。私事ですが、高熱42度以上で（体温計は、42度まで測定可能）医者に見捨てられたことが有ります。お祖母ちゃんに、コオロギを煎じて飲めば熱が下がると飲まされました。下がり今の自分があります。

我が家に、コオロギの乾燥したものが何処かに有るはず。田んぼで取ったコオロギを先代が保管していた。

出前講座で子供達に、屋敷林は、上空から見たら緑の真珠、中に入ると宝の森ですよ。ドローンにて動画の撮影したものを、児童に見せました、目を光らせて見ていました（屋敷林・散居村も、動画で撮影し後世に継承？）